



この熱「様子見」で大丈夫？

在宅で出会う「なんとなく変」への対応法

家 研也＝編

本体 2,400 円＋税／B5 判・224 頁／医学書院／2017

本連載を今回ご執筆の家先生の編集本。亀田総合病院・亀田ファミリークリニック館山育ちの総合診療医らが、在宅医療での経験を結集した。在宅医療における多職種連携が裏テーマの本書、ぜひ総合診療医にも手にとってほしい。熱血！総合診療医・修造先生の心意気に力づけられます。

本書は、『訪問看護と介護』の連載「これって急変？ なんとなく変への対応法」に加筆・修正されたもの。日々の訪問看護で悩む2人の看護師が、在宅医療に熱い医師とのやりとりから、「様子見でいいのか」「救急対応が必要なのか」の見分け方や対応の仕方、さらに医師や他職種とのコミュニケーションのコツを学んでいく。よくあるケースや稀なケースも交えながら、「こんな時どうする？」を解説。